

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			2F1Fに分けての療育が可能である。	
	2 職員の配置数は適切であるか	5			職員の離職が無く安定	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			5	フロアごとは出来ているが、階段しかないため 肢体不自由者には少し厳しい。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2		月1回の職員会議と朝礼にて情報交換と共有を図っている。	
	5 よりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につ	4	1		毎年1回のアンケートと保護者会、親子イベントにより情報収集と共有。毎日の連絡帳。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			5	今後実施	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	2	職員会議にて、改善定義し改善策を検討する。社内監査を行っている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			都度研修 山城北 京都府 社内など実施	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画	5			年2回の面談及び利用日での連絡帳での情報共有を図っている。	
	10 子どもへの対応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3		標準はできていないが、ADLその他を使用して共有を図っている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3		職員会議にて月間会議を開き立案をしている。	
適切な 支援の 提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		3	2	職員から意見やアイデアを募り工夫を行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		2	3	プログラムはできているが、課題設定は細かく出来ていない。月間の目的目標を定めて計画表を作成時活動	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等	1	4		集団活動が主で、個別活動が都度対応でプログラム化出来ていない。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎回実施	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		毎回実施	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながる定期的モニタリングを行い、放課後	5			日々、振り返り及びケース記録し問題があれば毎朝の会議で検討している。	
	18 等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			相談室で行い情報共有を行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	3			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した職員が参画しているか	2	3		管理者・児童発達管理者参加	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に	4	1		連絡を密に行っている。	
関係機関 や保護者 との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	1	医療より保護者との連携を重きに置いている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解		3	2	相談室からの情報はあがるが、当事業所から保育所や幼稚園、認定こども園に連絡は出来ていない。	
	24 事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	1	3	1	グループでの連続性を提案している	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	2	山城北保健所や府からの案内での研修を受けているがこちらからの相談は無い。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5		
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			坂本副社長参画	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			都度連絡をしている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	2	一部の家庭と行っている。研修を受けた職員がレクチャーもらい実践していく。	
	保護者への 説明責任	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		契約時変更時お伝えしている
		31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		面談時や連絡帳に記載されていれば、都度連絡を行っている。
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	2	1	父母の会などは存在していないが、保護者会や親子イベントを催している。	
33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		3	2		苦情や問題があった時は当該保護者、および弊社役員に連絡を行い迅速に書き決できるよう努力しているが、対処法を誤りクレームさい苦情となった場合があった	
34 や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		3	1	1	ほぼ毎日ブログから発信している。	
35 個人情報に十分注意しているか		5				
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		4	1		特性に応じた対応を職員で共有している。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	2	2	市内2カ所のNPO法人に協力いただいで木工竹工芸の指導をいただいている。	
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		保護者通知が出来ていない。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			最低年2回は行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			重要事項であるので、積極的に社外研修受講 今後の社内研修も行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス	2	1	2	面談時にて保護者との話の中で、決定し支援計画に記載し職員保護者共有する。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3	2	保護者からの提供により対応。	

職員からの自己評価から

- 1.保護者様 学校 各機関との連携をとっていきます。
- 1.活動プログラムの固定化の見直し。
- 1.個別対応プログラムの検討
- 1.利用者様の緊急対応(身体拘束等)の保護者様共有とマニュアル化
- 1.職員のスキルアップのための研修研鑽